

市報

おぢや

2005.10月号



第820号



読売巨人軍来季監督原辰徳さんが野球教室

—復興頑張ろう祭り—

震災体験記あの時わたしは・・・2～3
十二平町内この1年・・・4～5
片貝まつり・・・6

お知らせ(健康)・・・12～14
井佐英徳選手五輪代表内定・・・15
お知らせ・・・15～19

「震災を乗り越え小千谷市をよりよいまちに」

あれから1年あの時わたしは

あの中越大震災から間もなく1年が経とうとしています。この1年間、市民のみなさん1人ひとりに言い尽くせぬさまざま
なドラマがあったはず。しかし、その反面次第に記憶も薄れていくことももまた確かです。
そこでみなさんの震災体験をこれから掲載していくことにしました。今回はまず3人の方から登場していただき、あの日あ
の時、そして現在思うことを話していただき今後の教訓として生かしていきたいと考えます。



約3,000人の避難者で埋まった総合体育館

総合体育館で配食ボランティアとして活躍 大橋友子さん（平沢2）



10月23日(土)自宅にいたところ「ドスン」という音がして、横揺れが始まりました。外に出ようとしたところ、玄関の下駄箱が倒れていて、近所の人から起こしてもらい、ようやく外に出ることができました。

最初にパチンコ店の駐車場に避難、その後ジャスコの駐車場へと移動、町内の人の指示で夜になって総合体育館に避難しました。

このとき、主人は仕事で塩沢町に行っていて帰れなくなり、長女は高校でクラブ活動をした後の帰宅途中、本町で「水仙の家」のお年寄りの移動を手伝うこととなり、翌日に総合体育館で会うことができました。主人が帰って来ることができたのは2日後のことでした。

余震が続く中、総合体育館でボーッとしながら避難生活を続けていたところ、館内放送が聞こえて来ました。配食をするので、手伝える人は手伝って欲しいというものでした。

手伝っているうちに総合体育館の職員の方から私を含め約10人が配食ボランティアのリーダーになって欲しいといわれ引き受けることになりました。

配食は最初のころは食べるものが少なく、その後パンやおにぎりが中心でしたが、北海道の自衛隊の炊き出し班の人たちが来てくれるから、ようやくごはん、汁、おかずが3食そろうようになりました。

1日全食が出るようになってからは、私たちボランティアは、朝は6時から夜は6時過ぎまで、避難者のみなさんに食事を配り続けました。

今になって考えてみると、ボランティアをしながら、お互いに元気をやったり、もらったりしたような気がします。「気合いでやった」という感じでした。あときボランティアをした人たちが、現在も時どき集まり、当時の思い出話をしています。時には埼玉県から駆けつけてくれたボランティアの人がまた来てくれたり、北海道から自衛隊の人が顔を見せに来てくれる事もあります。



水溜まり土嚢が積まれた浦柄



自衛隊のヘリで入院患者を移送

寺沢の患者に酸素を運んだ搬送隊長 安達正人さん（一之町一区）



私は震災直後から消防団の分団長として指揮本部の命令で本部に14日間詰めて復旧活動にあたりました。

地震があった翌日の24日(日)、連絡のつかない東山地区の寺沢

から2人の女性が本部に来て、在宅酸素療法をしている患者の酸素がなくなり、現在錦鯉の酸素を使っているが、もうすぐなくなるので助けて欲しいと訴えました。団長の命令により、私を隊長とする16人の搬送部隊が編成され、長岡市から酸素ボンベが届きたい搬送することになりました。道路状況が悪い中、酸素ボンベ10本が長岡市の業者から午後4時ころ届き、これを積載車に載せて現場に向かいました。

東山の入り口の浦柄で車を置き、2人を連絡要員としてそこに残し、1人が5kgのボンベを1本ずつ担ぎ歩き始めました。浦柄の町内に入ると、木が倒れ、土砂が崩れ、自動車は横倒しになり、水がたまっている悲惨な光景が目に見え込んで来ました。あたりは静まりかえり鳥1羽いない不気味な光景でした。

薄暗くなり、何とか酸素を届け、この日のうちに団に帰らなくてはという一心で歩きましたが、泥水が腰のあたりまである所もあり、なかなか前へ進むことができませんでした。途中大きな余震があり、山が動いているのが見えました。何とか無事寺沢の集会所に着くと地元の消防団が迎えに出てくれ、患者宅に酸素ボンベを届けることができました。家族は私たちに手を合わせて感謝の気持ちを表してくれました。私たちは集会所で肩を寄せ合っている人たちに「必ず助けにくるから頑張れ」と励まし、本部へと帰りました。寺沢の人たちは翌日ヘリで救出されました。

私が地震の直後、消防団本部に行くとき、地域の人から「家族の面倒は私たちがみるので心配するな」と言われました。災害にあって日ごろの地域での付き合いが大切であることを痛感しました。

地元医師会を代表して医療チームをバックアップ 根元純一さん（城内2）



地震が発生した時、研究会があって、新潟市にいました。30分ほどたって震源が小千谷あたりと聞きました。まず帰らなくてはと思い、自分の車に乗りましたが高速道路は通行できず、

カーナビをたよりに小千谷へ向かいました。途中救急車、消防車に出会い、これは大変なことになったと感じました。自宅に母がいたので、途中携帯電話をかけたままでしたがかからず、仕事に来てもらっている方の所にかけた電話が1本だけつながり、家具に挟まれて動けなくなっていた母を助けてもらいました。私が小千谷に着いたのは午後11時ころでした。

翌24日早朝には医療支援チームが市外から来てくれ、私は市内がどういう状況にあるのか見て回りました。27日医師会としての最初の会合がもたれました。

私たち地元の医師会として3つの柱を決めました。

一つ目は市民で毎日病院に行く患者に対して、医療を受けるための連絡がとれる体制をつくること。

二つ目は地元医療機関の復旧を図ること。

三つ目は来てくれた医療支援チームをバックアップし、もっている力をフルに発揮してもらうようにすることでした。

そのために、市の保健士といっしょに、每晚8時から1時間くらいかけて、日赤を中心とした医療チームと話し合いをもち、必要な情報をやり取りもったりする毎日が続きました。

医療の面で振り返ってみると、小千谷総合病院、魚沼病院という2つの病院が中心部にあり、医療の拠点として頑張ってくれたことが大きかったと思います。また阪神淡路大震災の教訓が生かされ素早い対応ができたと思います。これからの災害に対して大切なことは、まずマニュアルをきちんと作成すること。そしてマニュアルにないことに対して柔軟に対応できる人材を育てていくことではないでしょうか。

十二平町内この1年 集団移転への道



土砂が崩れ落ちる芋川の流域。鈴木俊郎さんは92歳の父親を背負いこの崖を登った



12月6日一時帰宅し、我が家の変わり果てた姿を
目する鈴木俊郎さん



生けずを埋め尽くす錦鯉の死骸



トラックが落ち電柱が倒れ落ちる芋川流域

東山地区十二平町内は11世帯41人の小さな集落でした。錦鯉を飼育し、田や畑を耕してきました。中越大震災の発生により芋川の支流が流れる十二平は地盤は崩壊、集落は孤立し道路に「SOS」の文字を書き、自衛隊のヘリコプターで救出されました。

何も持たずに避難した住民は12月6日旧山古志村竹沢から約1時間の道のりを徒歩で一時帰宅しました。残してきた車に貴重品と家財道具を積み込むだけの短時間の帰宅でした。

住民の大半が千谷応急仮設住宅に入居した十二平の人たちを苦しめたものが、19年ぶりの豪雪でした。残してきた自宅にはまだ家財もあり、雪下ろしが必要でしたが旧山古志村竹沢からのルートは閉ざされたため、旧堀



鈴木仙一郎さんが雪下ろしの手伝いに来てくれたボランティアにあげたお礼は大切にしていた錦鯉品評会のトロフィー



崩壊した錦鯉の越冬施設と懸命に行われた雪下ろし



雪下ろしの合間鈴木清司さん宅の犬リリーと仲良しになったボランティア



竜光から徒歩で雪下ろしに向かう険しかった十二平までの雪道



家屋の崩壊が進んだ現在の十二平町内

之内町竜光を通り、雪道を歩いて通いました。立っている家屋には人の身長を2倍を超す積雪があり、また傾いた家屋は壊れたり、倒れて既に雪の下になっっているものもありました。雪下ろしにはボランティアも駆けつけ雪の晴れ間をぬって住民との共同作業が続きました。

3月10日(木)住民が集団移転を決断。市に対し、集団移転の要望書を提出しました。

これを受けて候補地の選定が始まり、移転候補地は地権者の同意を得て三仏生に決まりました。

9月21日(水)国土交通大臣から防災のための集団移転促進事業計画に同意があり、十二平町内の集団移転が正式に決まりました。住民は三仏生町内に住宅を建設し、再び一緒に生活することになります。

十二平町内には今もお避難勧告が出されていません。



9月9日夜10時打ち揚げの四尺玉

片貝まつり花火大会

震災復興支援の花火も

四尺玉ごう音とともに天高く



9月10日夜10時打ち揚げの四尺玉



夜空を彩る豪華スターメイン



町内の声援を受けてねり歩く玉送り



45年ぶりに復活した祭り屋台

花火大会は10日(土)はあいにく雨模様の天候となりましたが、煙が立ちこめることもなく、くつきりと花火を見ることができ、両日ともに夜10時四尺玉が夜空に大輪の華を咲かせました。

また、今年は全国から中越大地震災に見舞われた小千谷を支援してくれる人々たちによる花火も打ち揚げられました。

片貝まつり花火大会が9月9日(金)・10日(土)行われ、全国から観光バスが列をつくり大勢の観客が訪れました。

今年の片貝まつりは伝統の祭り屋台が45年ぶりに復活しました。花火大会を前にした9月8日(木)に引き回しが行われ、片貝の巫女爺の踊りが披露されたほか、和服姿の女性や女の子が乗り込み大勢の人たちが綱を引き屋台の復活を祝いました。今後片貝まつりの新たな名物となることでしょう。

45年ぶりに
伝統の祭り屋台が復活



おぢや稲刈り体験ツアー 子どもたちも活躍

おぢや稲刈り体験ツアーの稲刈り体験が10月1日(土)池ヶ原の田圃で行われました。今年は杉並区、練馬区などから31人の参加者がありました。

稲刈りをする前に関係者から安全についての注意を受け、作業に取りかかりました。

小さな子どもたちの中には両親や地元の人たちの指導を受けながら実際に鎌を持って稲刈りに挑戦する子、刈られた稲を両手いっぱい抱えて運ぶ子など元気な姿がみられました。参加者にはこの日刈り取られた新米2kgが後日送られました。



長岡交響楽団震災復興祈念コンサート 700人の聴衆

9月24日(土)長岡交響楽団による震災復興祈念コンサートが片貝中学校体育館で行われ、会場は地元を中心に約700人の聴衆で埋まりました。

指揮者の磯部省吾さんは、5年前から片貝中学校吹奏楽部を何度も指導しており、この日長岡交響楽団とOBを含めた片貝中学校吹奏楽部との合同演奏も行われました。

集まった聴衆は100人を超えるオーケストラの調べにじっと耳を傾けていました。



ハイブ長岡で震災対策技術展

第10回震災対策技術展が9月30日(金)・10月1日(土)長岡市のハイブ長岡で「一刻も早い復旧を目指して」をテーマに開催されました。会場には非常用の食料やトイレなど震災時に欠くことのできない物や耐震補強技術、防災情報システムなど、多数のブースが並びました。今回は昨年中越大地震を体験していることもあって、多くの来場者がありました。また、会場の一角には被災した各市、町のブースが設けられ、被災状況を記録した写真や資料を展示した小千谷市のブースに足を止める多くの人たちの姿がみられました。



小千谷トリム・ウォーキング大会 雨にも負けずに完歩

第28回トリム・ウォーキング大会が10月2日(日)に小雨の降るあいにくの天候の中行われました。

この大会は10km、20kmの2つのコースに分かれて行われ、10kmコースには121人、50kmコースには54人の参加者がありました。

参加者は雨模様とあって、傘や雨具を持参し準備は万全でした。「雨で大変ですね」と声をかけてみたところ、「歩いていると雨はあまり気になりません」と元気な答えが返ってきました。

秋の交通安全運動

多くのイベントを実施

秋の交通安全運動が9月21日(水)～30日(金)まで、行われ、市内で多くのキャンペーン行事が行われました。

9月21日(水)には勤労青少年ホーム前の交差点に、地域が待ち望んでいた信号機が設置され、点灯式と東小千谷小学校の児童と地元関係者による渡り初めが行われました。

また、9月26日(月)には、国道117号で闘牛六右門号と岩沢保育園と真人分園の園児たちが参加して、交通安全を呼びかける交通指導所が開設されるなど多くのキャンペーン行事が行われました。



交通量が増えた勤労青少年ホーム前に設置された信号機の東小千谷小学校の児童による渡り初め



ドライバーに交通安全を呼びかける牛六右門号と保育園児



琉球舞踊・恩納村エイサー団

琉球舞踊・恩納村エイサー団による中越地震被災者激励慰問公演が、9月24日(土)市民会館大ホールで行われました。

沖縄伝統の琉球舞踊では、沖縄県立芸術大学の琉球芸能OB会が出演し、沖縄音楽の情緒あふれる調べとともに、伝統の踊りを見せてくれました。また、時には軽妙な仕草で会場を湧かせたり、ステージの出演者と観客と一緒に歌う場面もありました。

琉球舞踊のあと、迫力あるエイサーが披露され、観客は珍しい沖縄芸能世界を楽しんでいました。



中学校が市役所で1日職場体験

9月16日(金)小千谷中学校2生年の宮澤桂三さんが市役所総務課で1日職場体験をしました。

宮澤さんは文書統計係で市役所に届いた文書の分け分けや、発送の仕事を係の職員の指導を受けながら行いました。

1日の体験を終えた宮澤さんは「市役所に来る文書の数が多いこと、たくさんの仕事があり、職員が忙しく働いていることに驚きました。市役所で1日過ごしてみて、市役所の仕事は市民と関わりの深いものだと感じました」と感想を話していました。



震災復興住宅フェア

最新の住宅・関連設備に熱い視線

10月2日(日)小千谷市総合体育館で震災復興住宅フェアが開かれ、小千谷市を中心に近隣の市町からの約2,300人の入場者で賑わいました。

このフェアは小千谷市建築組合、魚沼市建築組合が主催したもので、住宅の資材から内部のキッチン・バス・トイレに至るまで、各メーカーがブースを連ねました。

中越大震災で住宅に被害を受け、新築やリフォームを考えている人も多く、真剣に係員の説明に聞き入る人たちの姿が目立ちました。

また、このフェアの会場には建築士会や行政の相談窓口も設けられました。



小千谷市消防団

防災功労者内閣総理大臣表彰

小千谷市消防団は平成17年度内閣総理大臣表彰を受けました。

これは、平成16年の新潟県中越大震災に際し14日間わたり延べ4,325人が出動、大規模な余震が続く極めて危険な状況のもとで被害を最小にとどめるための活動が評価されたもので、9月8日(木)に内閣総理大臣官邸で表彰式が行われました。

9月12日(月)、大平和芳小千谷市消防団長ら幹部が関市長を訪問、受賞の報告をしました。

関市長から「消防団のみなさんの献身的な活動により、大勢の市民が助かりました」とねぎらいの言葉がありました。

(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業



元中子町内 太鼓とお神輿を整備

元中子町内では、(財)自治総合センター(自治宝くじ)のコミュニティ助成事業で、太鼓と子どもお神輿を購入整備しました。新調したお神輿と太鼓で早速おぢやまつりに参加、また、8月29日(月)の町内の秋祭りでもお披露目され、震災復興に立ち上がる地域住民に大きな力を与えてくれました。



上ノ山町内 祭用品を整備

上ノ山町内では、(財)自治総合センター(自治宝くじ)のコミュニティ助成事業で、宮太鼓や半纏など祭用品を購入整備しました。これらの祭用品は8月6日(土)に開催された「復興上ノ山夏祭り」で活躍。祭りには仮設住宅で避難生活を送る人も参加し、復興への決意を高めるとともに、地域連帯をさらに強化することができました。

おぢや 文化財散歩 3

あかしどう 明石堂

市立図書館の裏、極楽寺の境内に小千谷縮布^{ちぢみ}の創始者・堀次郎将俊^{ほりじろつまさとし}をおまつりした御堂があります。

堀次郎将俊は播州（現在の兵庫県）明石の出身でしたので、人々から「明石次郎」と呼ばれていました。彼は昔からこの地方にあった麻布の製造方法に独特の改良を加えてその品質を一新しました。その技術を広く土地の婦女子に伝授、生産を奨励して小千谷縮布の基盤を築きました。これにより小千谷縮布は小千谷の主産業になっていきました。

彼が亡くなった後に一小祠^{しょうし}が建てられましたが、それから百余年を経て織物関係者により改築の気運がおこり、嘉永元年（1848）に現在の明石堂が完成しました。総檜造り、高さ14.3m、広さ28㎡、内外に精巧な彫刻が施されています。その彫刻の製作者は吉谷出身の柳田庄左衛門で、竜の彫り物を最も得意とし、極楽寺本堂に飾られている蛙股三面の竜はその傑作であるといわれています。

織物同業協同組合では、毎年9月12日に法要・祭礼を行って彼の遺徳を偲んでいます。また、昨年の震災により明石堂にも大きな被害がありましたが、これを管理する同組合により修繕されました。

小千谷市社会教育課



作ってね！ この料理

納豆のねばねば焼き

材料（4人分）

ひきわり納豆2パック、オクラ5～6本、小麦粉100g、水180ml、塩小さじ1、油適量

作り方

オクラを細かく切る。

納豆とオクラを合わせ、タレ、カラシで味付けする。小麦粉、水を入れよく混ぜ塩を入れる。

フライパンを熱して油をひき、材料をスプーンですくって平らにして人数分を焼く。

（調理：小千谷市食生活改善推進委員）



乳幼児健診、予防接種の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。
番号札配布開始時間 午前中に開催の場合 = 午前8時30分～、午後で開催の場合 = 正午～

胃集団検診日程表 (申込数により受付時間が変更になることがあります)

対象地区	月日	受付時間	会場	
上ノ山2,3,4,5	11.7(月)	8:30～11:00	信濃川テクノアカデミー	
土川	11.8(火)		土川会館	
城内			健康センター	
全市	11.13(日)		土川会館	
土川	11.14(月)		健康センター	
千谷川、平沢	11.16(水)		市民会館	
上ノ山1、稲荷町、平成2	11.17(木)		健康センター	
本町1,2、平成1			白寿荘	
東栄	11.18(金)		8:00～11:00	木津公会堂
木津町			8:00～10:00	
旭町、信濃町、木津団地、津山町、山寺、元中子	11.24(木)	8:30～11:00	白寿荘	
	11.25(金)			
岩沢(大崩、池之平を除く)		8:30～9:15	岩沢林業会館	
本村、中山、石名坂、栗山、源藤山、上沢、万年、干三	11.29(火)	10:15～11:00	真人住民センター	
吉谷、谷内、若板、芹久保、市之沢、山新田、北山、孫四郎	11.30(水)	8:30～9:30	吉谷トレーニングセンター	
片貝地区(五辺、高梨を除く)		8:30～11:00	片貝総合センター	

胃集団検診

対象 / 40歳以上の方
料金 / 1,000円 (平成17年度末までに70歳以上になる方は無料)
平日は、忙しくて受けられないという方は、11月は日曜日の検診もあります。日曜日の検診を希望する方は、11月7日(月)までに健康センターにお申込ください。
大腸がん検診を希望する方は、胃検診会場でお申込ください。容器を配布します。



AAグループミーティング

アルコール依存を正しく理解し、互いに話し合うことで断酒継続をしています。

対象者 / アルコール依存やお酒で体調をこわしている方、家族、友人

日時 / 毎週水曜日 午後7時30分～午後9時

会場 / 健康センター

乳幼児の健康診査

会場は健康センターです

4カ月児健康診査

日時 / 11月2日(水)午後1時～1時15分受付

対象 / 平成17年6月生まれ
持ち物 / バスタオル、母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食講習会を同時実施



10カ月児健康診査

日時 / 11月17日(木)午後1時～1時15分受付

対象 / 平成16年12月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食後期の講習会を同時実施

1歳6カ月児健康診査

日時 / 11月16日(水)午後1時～1時20分受付

対象 / 平成16年4月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳
その他 / 歯科検診を同時に行いますので、歯をみがいて来てください。

2歳児歯科検診

日時 / 11月22日(火)午前9時～9時10分受付

対象 / 平成15年10月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、お子さんのハブラシ
その他 / 幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導があります。歯をみがいて来てください。

3歳児健康診査

日時 / 11月30日(水)午後1時～1時20分受付

対象 / 平成14年10月生まれ
持ち物 / 目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、母子健康手帳
その他 / 尿検査、歯科検診も同時に行います。歯をみがいて来てください。また会場で採尿しにくいお子さんは、清潔な容器に尿を入れてお持ちください。



* 発熱など、普段と違う症状のあるお子さんは、翌月の健診日においでください。

健康 の情報



11月の予定

胸部レントゲン検査・基本健康診査日程表

対象	月日	受付時間	会場
未受診者(再実施)	11.9(水)	9:00~11:00	健康センター
		13:00~15:00	
	11.10(木)	9:00~11:00	
		13:00~15:00	
11.11(金)	9:00~10:30		

胸部レントゲン検査

(結核定期健康診断・肺がん検診)

結核、肺がんの早期発見のため、職場や病院などで検査を受ける機会のない方は受診しましょう。

65歳以上は結核予防法により受診が義務付けられていますので、年1回は受診してください。

対象/65歳以上は結核定期健康診断・肺がん検診、40~64歳は肺がん検診
料金(肺がん検診)/200円(70歳以上無料)

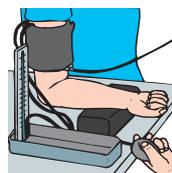


基本健康診査

生活習慣病予防のため、年に1回は健診を受けましょう。

対象/16歳以上

検査項目/計測・尿検査・問診・血圧測定・診察・血液検査・心電図・眼底検査
料金/無料



心の健康相談

心が沈みがち、元気が出ない、眠れない、アルコール依存、家庭内暴力などでお困りの方の相談を精神科医師がお受けします。

日時/11月11日(金) 午後1時30分~3時

会場/健康センター

申込締切/11月10日(木)

各種検診のご案内

指定された日時、会場で受診できない方は、都合のよい会場で受けてください。受診通知書が届いていない方で、受診を希望する方は、健康センターにご連絡ください。

子宮頸がん検診・乳がん検診日程表(40歳以上の方は同時実施)

月日	受付時間	会場
11.7(月)	13:00~13:10	小千谷総合病院
11.14(月)	14:00~14:10	
11.21(月)	20~38歳の子宮がん検診、40歳以上で子宮がん検診のみ受診される方は、月曜日14:00~14:10受付	
11.28(月)		
11.7(月)	13:00~13:15	魚沼病院
11.14(月)	14:00~14:15	
11.21(月)	20~38歳の子宮がん検診、40歳以上で子宮がん検診のみ受診される方は、月曜日13:45~14:00受付	
11.28(月)		
11.4(金)	13:30~13:45	
11.11(金)	14:15~14:30	
11.18(金)		
11.25(金)		

今年度から、対象年齢、検診方法が変わります。必ず個人通知が届いてから受診してください。

指定された日が、ご都合の悪い場合は、受診日を変更してください。乳がん検診は、今までよりも時間がかかります。余裕をもってお出かけください。

子宮頸がん検診

対象/20歳以上の女性で、今年度末までに偶数年齢になる方(隔年検診)
料金/1,000円、70歳以上は無料

乳がん検診(マンモグラフィ・視触診併用検診)

対象/40歳以上の女性で今年度末までに偶数年齢になる方(隔年検診)
料金/40~48歳 1,400円(X線写真を4枚撮影)、50~68歳 1,000円(X線写真を2枚撮影)、70歳以上無料
対象年齢で申込みをされていないで、検診を希望される方は、健康センターへお申込みください。(11~12月の検診)

お年寄りの心の相談会

物忘れがひどい、やる気が出ないなどでお困りの方やその家族の相談を精神科医師が無料で受けします。

日時/11月28日(月)午後1時30分~3時30分

会場/健康センター

申込締切/11月25日(金)



脳卒中後遺症者家族のつどい

脳卒中後遺症をもち、生活されている方のご家族を対象に開催しています。こんなことで悩



んでいる、他の人はどうやって介護しているのだろう、こんな思いをみんな語り合いませんか。

申込は不要です。当日会場へおい

てください。
日時 / 11月21日(月)午前9時30分 ~ 11時

会場 / 健康センター

内容 / 座談会

女性のための健康相談

魚沼地域振興局健康福祉部(魚沼保健所)では思春期から更年期の女性とその家族の方を対象に産婦人医が相談をお受けします。

事前に電話でご予約ください。相談は無料です。

内容 / 妊娠、避妊、不妊、婦人科疾患、更年期障害、性感染症、



その他女性の心身の健康に関する相談

相談日 / 10月19日(水)午後2時 ~ 4時

会場 / 魚沼地域振興局健康福祉部
相談担当医 / 県立小出病院副院長
産科婦人科鈴木孝明医師

申込 / 前日まで

☎025-792-8612

相談は予約制です。ご希望の方は必ず申し込んでください。

地域健康相談(夜間)

震災後、生活習慣の変化や生活再建で心身ともに疲労が蓄積し、体調の変化がくるころです。そこで、医師による健康相談会を実施します。お気軽においでください。

地域健康相談日程表

開催日	会場	担当医師
11月4日(金)	吉谷トレーニングセンター	安藤秀夫医師(安藤眼科)
11月8日(火)	片貝総合センター	小林一医師(小林整形外科医院)
11月15日(火)	健康センター	横森忠紘医師(小千谷総合病院)
11月25日(金)	勤労青少年ホーム	池田敏明医師(池田内科医院)

時間 / 午後7時30分 ~ 9時

内容 / 医師による健康相談、血圧測定など

健康手帳をお持ちの方は、当日ご持参ください。

都合により担当医師が、変更になることがあります。

健康センター ☎83-3640

認知症をお世話する

家族のつどい

認知症とは何か、理解しにくい症状について詳しくお話があります。関心のある方ならどなたでも参加できます。申込はいりません。

当日会場においでください。

日時 / 11月21日(月)午後1時30分 ~ 3時30分

内容 / 座談会・講演会「痴呆の基礎知識」

講師 / 稲月原医師(ほんだ病院)

会場 / 健康センター

問い合わせ / 健康センター

☎83-3640

うぶごえ教室

日時 / 11月18日(金)午前9時 ~ 正午
対象 / 妊婦、1歳未満の子どもの母親など

会場 / 健康センター

内容 / 母乳育児と妊娠中、産後の過ごし方、料理実習、会食交流会

持ち物 / 母子健康手帳、エプロン、三角布、お子さんの離乳食

参加費 / 無料

申込締切 / 11月15日(火)、お子さん、ご夫婦一緒でも参加できます。

申込・問い合わせ / 健康センター

☎83-3640

高齢者のこころの元気

支援講座公開講座

高齢者になっても、元気で生活していくために学びましょう。

日時 / 10月29日(土)午後1時30分 ~ 午後3時30分

会場 / 健康センター

内容 / うつ病とその予防

講師 / 県立小出病院精神科

医長 坂井美和子さん

主催・問い合わせ / 魚沼地域振興局健康福祉部地域保健課

☎025・792・8614

ボランティアグループ

11月のおはなし会

毎週火曜日午後3時30分

11月1日、8日、15日、22日、29日

毎月第3日曜日 午後2時 ~ 2時30分 11月20日

会場 / 図書館1階おはなしの部屋

11月3日(祝)は特別に開館します。どうぞご利用ください。

開館時間 / 午前10時 ~ 午後6時

問い合わせ / 図書館

☎82・2724

11月3日(祝)は特別に開館します。どうぞご利用ください。

開館時間 / 午前10時 ~ 午後6時

問い合わせ / 図書館

☎82・2724

11月3日(祝)は特別に開館します。どうぞご利用ください。

開館時間 / 午前10時 ~ 午後6時

問い合わせ / 図書館

☎82・2724

英徳選手
ワールドカップで転戦する井佐



井佐英徳選手 トリノオリンピック バイアスロン競技代表内定

井佐英徳選手（桜町出身・自衛隊29歳）は、9月22日(木) 来年2月に開催されるトリノ冬季オリンピックのバイアスロン競技の代表に内定しました。トリノ冬季オリンピックの県内内定第1号となります。

井佐英徳選手は小千谷西高等学校、高田自衛隊を経て冬戦教（北海道）に入り、前回のソルトレークシティ冬季オリンピックに出場しました。

現在、井佐英徳選手は男子のエース格で、昨シーズンのワールドカップで第8戦（スロベニア）の12.5km追い抜きでは、日本人選手最高の14位に入っています。

井佐英徳選手オリンピック内定激励会

井佐英徳選手をお招きして、オリンピック代表内定激励会が開催されます。市民のみなさんもぜひご参加ください。

日時 / 10月15日(土)午後4時～

会場 / サンラックおぢや

主管 / 小千谷市体育協会、小千谷スキークラブ、小千谷西高等学校同窓会、Hideサポーターズクラブ

問い合わせ / 総合体育館内小千谷市体育協会事務局

☎83-0077

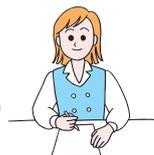
行政相談委員に

友田ムツ子さんを委嘱

10月1日付で友田ムツ子さんが、総務大臣から行政相談委員に委嘱されました。

現在、市内には2人の行政相談委員がいます。相談は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。

- ・山崎忠一さん（稲荷町）
☎ 82 - 6480
- ・友田ムツ子さん（四之町）
☎ 84 - 2685



行政相談委員とは

行政相談委員は、国の仕事、国が県や市町村に委ねている仕事について「こうしたらどうか」「どうして」「どうなっているんだろう」「納得できない」など住民のみなさんからの意見や要望・疑問や苦情を受けてその相談に応じ、国や関係機関に必要な連絡を行うなど、みなさんの疑問にお答えし、苦情の解決に勤めることを役割としています。

行政相談委員は、みなさんと行政の橋渡しを役割とする身近な相談相手です。

行政相談を市役所でも行っています。日時・会場は、毎月25日発行の市報おぢやお知らせ版に掲載します。

行政相談週間

総務省では、10月17日(月)から23日(日)までの1週間を行政相談週間に設定し、行政相談委員制度の啓発など広報活動を行います。

国の行政苦情110番は0570-090110（おこまりならまる-まるくじょーひゃくとうばん）です。関東管区行政評価局・新潟行政評価事務所がご相談に応じます。

問い合わせ / 市民生活課 ☎83-3509

知事とのタウンミーティング（魚沼地域）開催

魚沼地域の医療問題についてパネリストと知事がディスカッションをします。また、来場された方との自由な意見交換の時間もありますので、多数ご参加ください。

日時 / 10月31日(月)午後2時～(約2時間)

会場 / 魚沼市地域振興センターコンベンションホール

「北道の駅「湯之谷」隣」テーマ / 「安心・安全な

地域医療をめざして」望ましい地域医療を考える」

申込締切 / 10月21日(金) 定員 / 150人程度

手話通訳・要約筆記あり 申込・問い合わせ / 魚沼

地域振興局企画振興部 ☎025・792・1302

市税等の納期限

10月31日(月)

市・県民税（第4期分）

国民健康保険税(10月分)

介護保険料(10月分)

10月23日錦鯉の里入館無料

錦鯉の里 ☎83-2233

震災復興祈念し、錦鯉の里開館記念日でもある10月23日(日)を入館を無料にします。

ぜひこの機会に錦鯉をご観賞ください。

開館時間 / 午前9時～午後6時
問い合わせ / 錦鯉の里

パートタイム労働ガイダンス

商工観光課 ☎83-3512

パートタイマーとして働きたい人、働いている人を対象に、パートの現状、心構え、知っている便利な制度(法律、税金、保険)などの情報を提供するパートタイム一職業教室を開催します。



日時 / 11月10日(木)午後1時30分～4時

会場 / サンプラザ・第1ホール
講師 / パートタイムアドバイザー、ハローワーク職員

定員 / 30人(定員になり次第、申込を締め切ります)

参加費 / 無料

主催 / (財)21世紀職業財団新潟事務所

共催 / 小千谷市、小千谷公共職業安定所

申込・問い合わせ / 商工観光課 ☎83-3512

**第45回全国農林水産祭参加
新潟県錦鯉品評会**

商工観光課 ☎83-3512

原産地復興に向けて新潟県錦鯉品評会が当市で開催されます。県内の生産者が丹精こめて育てた錦鯉が出品され、優秀鯉が決定されます。ぜひおいでください。



一般公開 / 10月30日(日)午前8時～午後3時

会場 / 総合体育館コミュニティプラザ

入場料 / 500円(小学生以下無料)

主催 / 新潟県、(社)新潟県錦鯉協議会

主管 / 小千谷市、新潟県錦鯉品評会実行委員会

問い合わせ / 商工観光課

はがき作成講座・受講者募集

信濃川テクノ・アカデミー ☎82-8282

信濃川テクノ・アカデミー(STA)では、はがき作成講座の受講生を募集します。

日時 / 11月14日(月)・16日(水)・18日(金) 午後7時～9時

内容 / オリジナルはがきの作成や住所録の管理など

受講料 / 7,644円

(テキスト代含む)

申込・問い合わせ / 信濃川テクノ・アカデミー(STA)

小千谷市農林まつり

農林課 ☎83-3510

震災復興祈念2005小千谷市農林まつりが開催されます。

日時 / 10月29日(土)・30日(日)

時間 / 午前9時30分～午後4時

会場 / JA越後おぢや駐車場

内容 / 地元野菜即売・米消費拡大

事業・イベント、ゲームほか

その他 / 神戸市社会福祉協議会震災復興支援コーナー(二胡演奏・

ふれあい喫茶ほか)

問い合わせ / JA越後おぢや

☎83-3424

日時 / 11月6日(日)午前8時
受付
会場 / 池ヶ原小学校周辺
競技種目 / 小学校3年以下
1キロ、小学校4年以上2
キロ、中学・高校・一般5
キロ、高校・一般10キロ
(各男女)
参加費 / 小・中学生500
円、高校生・一般1000
円(当日徴収)
申込 / 10月25日(火)までに所
定の用紙で申し込む。(用
紙は雪蔵の里にあります)
問い合わせ / 丸山
090・2951・9098



**池ヶ原クロスカントリー
大会参加者募集**

人形劇
「ねずみのよめいり」
劇団「バク」による大型
人形劇です。
日時 / 11月5日(土)午前10時
～11時
会場 / サンプラザ大ホール
入場無料
主催・問い合わせ / 小千谷
幼稚園 ☎82・7625

第24回市民音楽祭

公民館 ☎82-9111

アマチュア市民グループ・バンドが震災復興に励む市民のみなさんを元気付けるために音楽祭を11月5(日)・6(日)の両日開催します。



お誘い合わせのうえ、みなさんでお越しください。

会場 / 市民会館大ホール

11月5日(土)午後6時30分開演

出演団体 (ジャンル)

- ・小国コーラス (コーラス)
- ・コール・R (コーラス)
- ・混声合唱団OSC (コーラス)
- ・ふうりん (フォーク)
- ・大吟醸 (フォーク)

- ・山本山 ラテンファンクド オルケスタ (ラテンジャズ)
- ・リトルマウス (フォークロック)
- ・GIANT・STEPS. (ジャズ)

11月6日(日)午後2時開演

出演団体 (ジャンル)

- ・S.H.K (ロック)
- ・芸達者 (フュージョン)
- ・R・S・T・B (ロック)
- ・Kreal Morgan Jamboree (ロック)
- ・MARSHALL LAW (ロック)
- ・NILE (ポップロック)

(出演順)

入場無料

主催 / 第24回市民音楽祭実行委員会・小千谷市公民館

問い合わせ / 公民館

第25回小千谷市展

公民館 ☎82-9111

芸術の秋です。震災に屈せず創作した力作の数々が出展されます。ご家族おそろいでお出ください。

日時 / 11月1日(火)~3日祝、午前9時~午後7時、(3日祝は午後5時まで)

会場 / 市展：市民会館 総合文化展：サンプラザ

展示内容 /

市展：日本画、水墨画、洋画、書道、写真、彫塑・工芸・版画
総合文化展：文化協会展、菊花展、拓本展、生け花、パッチワーク

入場無料
作品の応募方法 / 市報おぢや8月25日号をご覧ください。

問い合わせ / 公民館

中越大震災関係資料展示

図書館 ☎82-2724

新潟県中越大震災関係資料を展示します。

これまで図書館で収集してきた震災関係資料のうち、図書・雑誌・パンフレット・チラシ・新聞など一部を公開展示します。どうぞご覧ください。

期間 / 10月20日(木)~11月11日(金)

時間 / 午前10時~午後5時

ただし毎週月曜日は休館

会場 / 図書館1階

問い合わせ / 図書館へ

ちぢみの里震災復旧感謝祭

ちぢみの里 ☎81-1717

新潟県中越大震災からまもなく1周年。ちぢみの里でも多くの方々から復旧に際してご支援をいただきました。その感謝の気持ちを“震災復旧感謝祭”として、実施することとなりました。多数のご来場をお待ちしています。



期日 / 10月23日(日)

会場 / 道の駅ちぢみの里おぢや

(地域間交流センター、道路情報センター)

内容 /

無料入館券ペア30組があたる抽選応募会

当日、有料入館者の方々には抽選応募会参加賞として、割引入館券をもれなく贈呈

震災パネル展示

ミニ販売会(ひかり工房作品ほか)

追悼キャンドル点灯

時間 / 、 は終日、 は午前10時~午後3時、 は午後5時30分~

問い合わせ / ちぢみの里

児童手当を振り込みます

市民生活課 ☎83-3509

児童手当10月期分(平成17年6月~平成17年9月分)を、10月14日(金)に受給者指定の各金融機関口座に振り込みます。

問い合わせ / 市民生活課

**第3回まつと秋の陣開催
テナントを募集**

真人町で収穫祭・文化祭・芸能祭を併せた「まつと秋の陣」を開催します。真人の食で収穫の秋を満喫してください。

またこのイベントに出店いただける方を募集します。みなさんのご来場をお待ちしています。

日時 / 10月29日(土)午前11時~午後7時

会場 / 真人トレーニングセンター・ふれあい交流館周辺

出店 / テント1張1000円(テント半分500円)

円)販売品は自由
場所が限られているので

先着順です。
出店申込期限 / 10月20日(木)

申込・問い合わせ / 真人住民センター ☎863022

パラソル市場

日時 / 10月22日(土)正午~午後6時

内容 / 餅つき、コンサート、東栄茶屋

会場 / 東栄原信跡地
主催 / TMO東小千谷地区

問い合わせ / 商工会議所

☎81-1300

中越大震災復興祈念イベント

神戸市役所センター合唱団 コンサート・トーク

私たちよりも早く震災に見舞われ、復興を成し遂げた神戸市から、中越大震災から1年を迎える日に神戸市役所センター合唱団のみなさんによるコンサートが行われます。

日時 / 10月23日(日)午後1時～3時30分

会場 / 市民会館大ホール

出演者 / 神戸市役所センター合唱団、作曲家池辺晋一郎さん、女優南風洋子さん



池辺晋一郎さん



南風洋子さん

申込 / 入場整理券が必要です。整理券は市民会館で直接受け取るか、往復はがきに「神戸市役所センター合唱団コンサート・トーク」入場整理券希望と書いて、〒947-0031小千谷市土川1-3-3市民会館内「震災復興祈念式典イベント係」あてにお送りください。(1人1枚)。返信用に申込者の「郵便番号、住所・氏名」を必ずお書きください。

問い合わせ / 社会教育課

☎82-9111

新潟県中越大震災

被災者生活再建支援制度

申請期限のお知らせ

新潟県中越大震災により、居住していた住宅に重大な被害があった世帯の生活や住宅の再建を支援するために支援金を支給する制度の申請期限についてお知らせします。

申請する制度や内容によって申請期限が異なっていますので、まだ申請されていない方はご注意ください。

県の制度

新潟県中越大震災により、居住していた住宅が半壊以上の被害を受けた世帯の生活や住宅の再建を支援するため、市が県の補助を受けて支援金を支給している事業(県制度)の申請書の提出期限を下記のとおりとします。

対象経費	申請期限
生活関係経費、居住関係経費共	平成19年12月22日

国の制度

被災者生活再建支援制度のうち、全壊などの被害があり世帯収入などが一定の条件にあてはまる世帯が対象となる被災者生活再建支援法に基づく支援制度の(概算支給)申請書提出期限は下記のとおりです。

対象経費	申請期限
生活関係経費	平成17年11月22日
居住関係経費(家賃など)	平成18年11月22日
居住関係経費(家賃など以外)	平成19年11月22日

生活関係経費の申請期限は、今後延長することが検討されており、決定した際は市報おぢやなどでお知らせします。

問い合わせ・提出先 / 建設課 ☎83-3514

復興への思いを込めた「タイムカプセル」に参加しませんか

市民・ボランティアのメッセージを往復はがきで出してもらいたいタイムカプセルに入れて総合体育館に保管します。

このタイムカプセルは震災10周年に開封し、本人に返却します。

あて先 / 〒947-1002 小千谷郵便局留「中越大震災 復興の集い」タイムカプセルあて
受付期間 / 10月21日(金)必着

記念イベントを実施

日時 / 10月22日(土)

午後1時～4時

会場 / 総合体育館コミュニティプラザ(雨天時総合体育館玄関前)

内容 / タイムカプセル、参加者による合唱、軽食など

主催 / 中越大震災復興の集い実行委員会

問い合わせ / 中越大震災復興の集い実行委員会

☎080-5525-5711

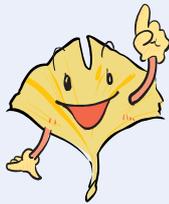
お知らせ

Information

小千谷市役所 ☎ 83・3511(代)
http://www.city.ojiya.niigata.jp/

ちぢみの里の利用券が当たる
広報クイズ 解答をはがきでお送りください。
正解者の中から、抽選で3人に
ちぢみの里の利用券を贈呈します。
市報おぢやの感想もあると担当は
うれしいのですが...

問 題 今年の片貝まつりに45年ぶりに復活し、9月8日引きまわしが行われた物は何でしょうか。



みこし 大太鼓

祭り屋台(ヒントはp7)

応募先 〒947-8501小千谷市役所総務課広報広聴係あて(住所不要)

締 切 10月24日(当日消印有効)

9月号の答えは、2団体でした。抽選の結果次の方が当選しました。

内山重男さん 黒崎アツ子さん
渡辺都志子さん

人口と世帯数(9月30日現在)

男	20,110人	7 出生	26人
女	20,592人	9 死亡	31人
合計	40,702人	16 転入	61人
世帯数	12,317世帯	3 転出	72人

事故発生状況(9月30日現在)

	17年9月まで	16年9月まで
件数	183件	152件
死者	1人	5人
傷者	241人	189人

消防本部出動状況(9月30日現在)

	17年9月まで	16年9月まで
火災	22件	33件
救急	1,152件	1,019件

気象データ9月

	17年9月	過去10年の平均
平均気温	22.6	19.7
最高気温	34.4	31.6
最低気温	12.2	11.0
降水量月計	94.0mm	168.0mm

小千谷地域消防本部速報値

新潟県中越大震災復興基金事業

市民からの支援要望を募集

企画財政課企画係 ☎83-3507

新潟県中越大震災復興基金では、支援メニューの2次募集を行います。

提案期間 / 平成17年11月1日(火)～15日(火)15日間

提案を求める内容 /

震災発生から約11カ月が経過し、復旧・復興が着実に進みつつある中で、基金に対する新たなニーズも考えられることなどから、復旧・復興状況を踏まえた的確かつきめ細かな支援策を講じるため、基金による支援メニューの2次募集を行うものです。

公募対象者 / 個人、団体

提案方法 / 郵送、電子メール、F a x で下記の復興基金事務局に提案してください。

募集要領、提案用紙は企画財政課にあります。

提案の採択について /

提案内容は集計・整理されたのちに、復興基金理事会の審議を経て事業化されます。

決定された事業は市報等を通じて随時お知らせします。提案者への直接の通知はありません。

提出先・問い合わせ /

新潟県中越大震災復興基金事務局

〒950-8570 新潟市新光町4番地1

TEL 025-280-5767

FAX 025-280-5709

E-MAIL info@chuetsu-fukkoukikin.jp

URL http://www.chuetsu-fukkoukikin.jp/

震災で犠牲となった方々のご冥福をお祈りし、復興を誓い合うため献花台を設けます。多数のみなさんから献花をお願いします。

日時 / 10月23日(日)
午前9時30分～10時45分
(1時間)

献花台設置場所 / 総合体育館

問い合わせ / 総務課
☎ 83・3506



中越大震災
犠牲となった方々に
献花をお願いします



小千谷を描く No.281 稲刈りの風景（片貝新屋敷）

片貝まつりの大賑わいも、いつのまにか過ぎて、ここ新屋敷では黄金色の稔りの中で、コンバインがいそがしく働いていました。

この収穫の風景を眺めながら、なぜか昨年の大地震のことを思い出していました。あれからもうじき1年、今までの事、そしてこれからの事などあれこれと思いめぐらしていると、秋の日差しが胸に沁みてきました。お互いにこれからも頑張りましょう。

（絵と文は西脇正久さん）

表紙

来季再び巨人軍の指揮を執る原辰徳さんと元巨人軍の名選手たちが、9月17日(土)白山運動公園野球場で少年野球の指導をしました。

これは小千谷青年会議所と小千谷ロータリークラブ主催の「復興頑張ろう祭り」に招かれたもので、マイクを握ったの明るく分かりやすい指導に野球少年たちは感激していました。

編集後記

あの震災から間もなく1年を迎えようとしています。

編集室にとっても、さまざまなお知らせがありました。当時、市報おぢやをどうやって作り、どうしたらみなさんに届けることができるのか先の見えない毎日が続いたことが思い出されます。

市民のみなさんもそれぞれに、大変な1年であったことでしょう。震災復興祈念イベントに参加して、この1年を振り返ってみてはいかがでしょう。